

堀内議員 通告どおり2点質問させていただきます。まず町政の方針は。前町長時には、「保養と健康の町」とのスローガンを挙げ、観光に力を入れて交流人口を増やすとじていましたが、今後も引き続き方向性は変わらないのか。課題が多くあり、新しい取り組みも検討されていますが、職員の数やお金は限られている中、優先順位をしっかりとつけた町政のかじ取りが期待されています。

2点目に高齢者の移動手段について。近年、高齢者の運転事故ニュースをよく見ます。免許証の返納を進める意見なども多くありますが、牟岐町のような場所では、自動車は必需品であり、買い物や通院には必要不可欠であります。現在、高齢者の移動手段については、タクシーチケット配布などで対応している現状ですが、根本的な解決が必要となってきました。国土交通局ホームページ内でも「過疎化の進行による生活交通の後退、高齢化の進展による移動制約者に対する福祉輸送の需要が急増している一方で、バス・タクシー事業者においては、運転者不足や経営の悪化などから、十分な輸送サービスが提供できない状況となっています。」とあり、事態は深刻です。今後ますます高齢化が進む中、「自家用有償旅客運送登録制度」等、検討が必要ではないか。同時に「S Bドライブ株式会社」のような自動運転技術の研究開発会社等の情報収集も必要とされてます。現に北九州市、鳥取県八頭町、長野県白馬村、浜松市の4市町村とは連携協定を締結しており、2021年度には量産・事業化を目指しています。今後、大きな課題である高齢者の移動手段について、牟岐町に加え、海部郡全体で検討していくべきではないか。以上、2点質問させていただきます。

一山議長 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

枳富町長 堀内議員の質問にお答えします。町政の方針はというところでは、地方創生交付金を受けた事業につきましては、地方創生にかかる有識者会議の中で事業の効果検証を行っています。事業効果の薄いものについては交付金の返

還も考えられますが、限られた職員数、また、財政が厳しい中、優先順位をつけ検討していきたいと考えています。私は牟岐町と多様に関わっていただける関係人口を増やしていきたいと考えていますので、今後の皆さま方のご指導、ご支援、ご協力をお願いします。次に高齢者の移動手段です。高齢者の移動手段については、先程、森議員の質問でもお答えいたしました。今後十分検討していく必要があると考えています。自家用有償旅客運送についても、現在運行しているバス会社やタクシー会社の運営に支障がきたさないように配慮しながら、高齢者等の交通手段の一つとして地域公共交通会議などにより検討してまいりたいと思います。また、自動運転技術の情報収集についても県内の市町村の状況や全国の情報等に注視していきたいと思っています。そして、高齢者の移動手段について、海部郡で検討していくべきではないかということですが、まずは牟岐町で検討しまして、それから海部郡の方に広げていければと考えていますので、今後ともどうぞよろしくをお願いします。以上です。

一山議長 堀内議員。

堀内議員 答弁ありがとうございます。町政の有識者会議等々でいろいろ検討していただいているようで、無駄なところは省いていただいていると思うのですが、可能性があるところにはどんどん使っていただきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。また、高齢者の移動手段についてですが、フランスのバス会社が空気でも運べるというスローガンで便数をどんどん増やしたら利便性が上がって黒字化に進んできたという事例があったりします。ただ、今、牟岐町の過疎地域は便数が減って利用客が減ってって経営が難しくなっていくという現状です。なかなか空気を運べというのは、思い切った経営方針だと思うのですが、2020年には首都高では高速自動運転が始まります。今、言ったSB株式会社2021年量産で事業化の方を目指していますので、牟岐町の方としましても、観光、教育に関しての関係人口は増加しているのです。技術に関する関係人口が増えていけば、より牟岐町も発展につながるというか、高齢者の移動手段の確保につながると思いますので、こちらの方も検討していただくよう要望しまして質問を終わります。ありがとうございました。